

31H 高 いおり 33H 不動 友渚 34H 馬場 天柊
34H 川向 優心 35H 稲原 智祐 36H 柴野 恭輔

■課題

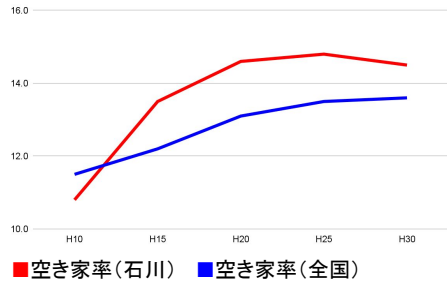
能登の空き家の増加と流出する人口の増加

■解決策

空き家を利用しコワーキングスペースを開設する

■現状①

<能登の空き家の数の増加>



空き家率が全国に比べて高い

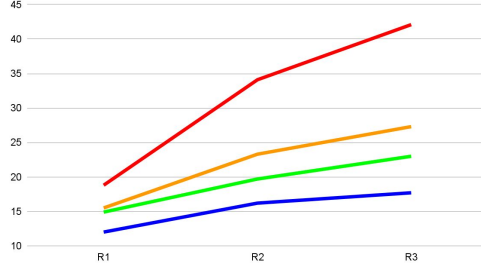
図1 石川県の空き家率の推移
表1 空き家数(千戸)

	H25	H30
石川	76.9	77.8
能登	15.9	20.2

石川全体と比べると能登の方が増加率が大きい

■現状②

<テレワーカーの増加>



- 首都圏(18.8%→42.1%)
- 近畿圏(15.5%→27.3%)
- 中京圏(14.9%→23.0%)
- 地方都市圏(12.0%→17.7%)

図2 就業者の住所地域別雇用型テレワーカーの割合

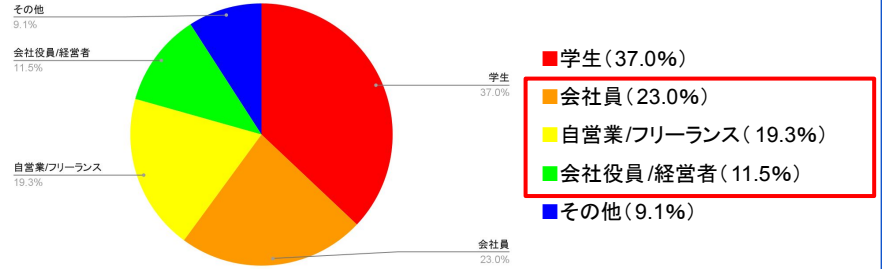


図3 職業別コワーキングスペース 利用者の割合

■現状③

<コワーキングスペースの認知度>

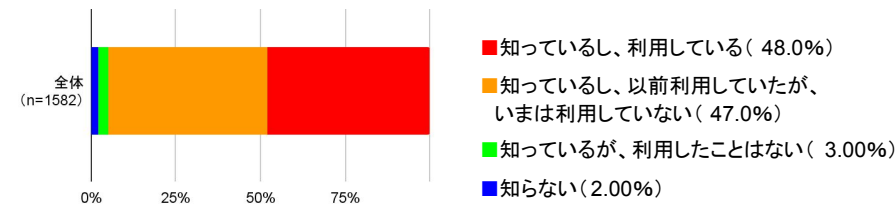


図4 コワーキングスペースの認知度

そもそもコワーキングスペースとは??
Co(共同で) Working(仕事をする)

コミュニケーションを通じて情報や知恵を共有し合いながら仕事を行う空間のこと

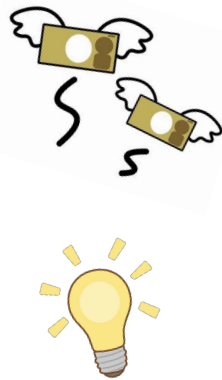
■効果

【空き家の効果】

- ・低コスト
- ・大規模な修繕の必要なし



<https://work-and-wonder.com/column/archive/40/>



【作業場の効果】

- ・家庭内の電気代削減
- ・周囲の人の影響でモチベーションup
- ・通勤しないでも大丈夫

コミュニケーションを行いながら仕事ができる

↓
他業種との関わりが増える

↓
地元の雇用が増える

↓
上京するような人たちを地元で留められる

↓
地元の活性化

■参考文献

図1 平成30年住宅・土地統計調査の概要住宅及び世帯に関する基本集計 <https://toukei.pref.ishikawa.lg.jp/dl/3648/H30juutakusetai.pdf> (参照2023-4-14)

図2 令和3年度テレワーク人口実態調査-調査結果(概要) <https://www.mlit.go.jp/toshi/daisei/content/001471975.pdf> (参照2023-4-14)

図3 コワーキングスペースビーゴ会員の人気プランや利用目的、多い職業 https://www.vie-orner.com/be-go/b_featured/member-attribute-202112 (参照2023-04-14)

表1 e-stat 政府統計の総合窓口 <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003334921> (参照2023-04-14)

図4 LINEが発表した「コワーキングスペースの現状と認知度」調査Work onの認知度が今後、高まっていくかをズバリ検証! <https://workon.biz/blog/post-1687/> (参照2023-04-14)